

日本で最初に赤十字活動を実践した、郷土小郡の誇り

# 高松凌雲

## 生誕180年 没後100年祭

### 医傑・高松凌雲

我が国における赤十字運動の魁・高松凌雲は、1836年12月25日、筑後国御原郡古飯村（小郡市古飯）に生まれました。1859年、23歳のとき医師を志し、江戸へ出て、石川桜所及び緒方洪庵に学び、1865年、一橋家の医師になりました。翌年、慶喜が第15代将軍に就任するのに伴い、幕府の奥詰医師となり、パリ万博に派遣される幕府使節団に随行しました。パリでは施療院「オテル・デュ」で最新の医療技術を学び、また、欧州各国を巡って見解を広め、博愛精神と赤十字精神を学びました。1868年、幕府崩壊の知らせに急ぎ帰国し、榎本武揚らとともに蝦夷地（現在の北海道）に赴き、野戦病院を設立し、箱館病院の院長として敵味方の区別なく、両軍の傷病者の治療を行いました。また、新政府軍と旧幕府軍の和平交渉にも当たりました。1870年高松医院を開業、さらに1879年同愛社を設立、東京市内の開業医と協力して、貧しい人々の無料診療に当たりました。凌雲は、1916年10月12日、東京鷺谷の自宅で満80歳の生涯を終えましたが、同愛社の活動は、1945年8月の第2次世界大戦終了まで続けました。

### 出演団体プロフィール

#### みくにっこ劇団 レインボーキッズ



みくにっこ劇団レインボーキッズは、小学生がメインキャストの劇団です。平成14年9月にアンビシャス広場の一環として旗揚げ公演をしました。それ以来毎年1回は本公演を行っており今年は15年目となりました。15年間経つ中で、1期生が今では25歳となり、1期生をはじめとしてたくさんの卒団生が合宿や公演のお手伝いや出演者として稽古場に訪れてくれます。毎年違う芝居にチャレンジしていますが、平成18年に郷土の偉人である高松凌雲先生を題材にした、「静かなる獅子」を上演しました。今年は、凌雲先生の生誕180年、没100年という節目の年に公演の機会を与えていただき大変光栄です。凌雲先生の偉業をしっかり表現できるよう頑張ります。

### 出演団体プロフィール

#### ブリヂストンK2バンド



私たちブリヂストンK2バンドは、2001年12月28日に発足、初演。

久留米・鳥栖・甘木・佐賀の4工場の音楽が大好きなブリヂストンの従業員達で、ブリヂストン吹奏楽団久留米のOBを基に構成されており、自らが楽器演奏と音楽を楽しむのはもちろんの事、地域の方々にも出来る限り音楽に親しんで頂きたいと積極的な演奏活動を務めています。

現在さまざまな地域から、年間約20件ほどのイベントにお招き頂いております。皆様へ音楽の楽しさを提供出来る様頑張りますので、応援宜しくお願い致します。